

報道関係者 各位

2020年8月27日
一般社団法人 日本生産技能労務協会
専務理事 新宅 友穂
電話：03-6721-5361
URL：<http://www.js-gino.org/>

2020年7月度 製造請負・派遣事業動向調査結果

一般社団法人 日本生産技能労務協会は、製造請負・派遣業の事業主団体として、会員企業を対象に製造請負・派遣業に関する業況判断等について四半期ごとに定期調査を実施しております。2011年4月に第1回を実施し、今回で38回目となります。2020年7月度の調査結果を下記のとおり取りまとめました。

業況判断D Iはマイナス57と、2011年4月の調査開始以来最低となる
～ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う取引先の生産調整等により受注減 ～

【調査結果のポイント】

1. 業況判断等

- (1) 2020年7月の業況判断D I（「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を引いた数値）はマイナス57で、2020年4月度調査（マイナス35）を22ポイント下回っている。
先行き（3ヵ月後）の業況判断D Iはマイナス41となっている。
- (2) 取引先数判断D I（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた数値）はマイナス52で、2020年4月度調査（マイナス26）を26ポイント下回っている。
先行き（3ヵ月後）の取引先数判断D Iはマイナス18となっている。
- (3) 雇用人員判断について、スタッフ社員判断D I（「不足」と回答した企業の割合から「過剰」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス15で、2020年4月度調査（プラス23）を8ポイント下回っている。
また、プロパ社員判断D Iはマイナス20で、2020年5月度調査（プラス5）を25ポイント下回っている。
先行き（3ヵ月後）のスタッフ社員判断D Iはプラス25となっている。

※用語の説明

【スタッフ社員】：製造業務等に直接従事する労働者

【プロパ社員】：製造業務等には直接従事しないで、営業部門や管理部門等、間接業務に従事する労働者

※D I値について

本調査におけるD Iとは、各調査項目についての判断の状況を示す。例えば、業況判断D Iは、ゼロを基準として、プラスの値は業況の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値は業況の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

2. 売上額・雇用人員

- (1) 回答企業の2020年4～6月期売上額の対前年同期増減率は6.5%減であった。
- (2) 回答企業の2019年6月末現在の雇用人員数は137,863人であった。

【調査の概要】

1. 調査の目的

四半期ごとに、会員企業の製造請負・派遣業に関する業況判断、売上げ動向、雇用人員等の事項について調査することにより、製造請負・派遣業の現状を明らかにし、事業運営に役立てるとともに、取引先はじめ関係の皆さまに業界の実情をご理解いただくことを目的とする（2011年4月から調査開始）。

2. 調査時期

この調査は、2020年6月30日現在の状況について、2020年7月8日から7月22日に実施した。

3. 調査の対象

当協会の正会員（86社）を対象とした。回答企業数65社、回答率73.9%。

4. 結果表 別紙

【結果の概要】

1. 業況判断等

(1) 業況判断

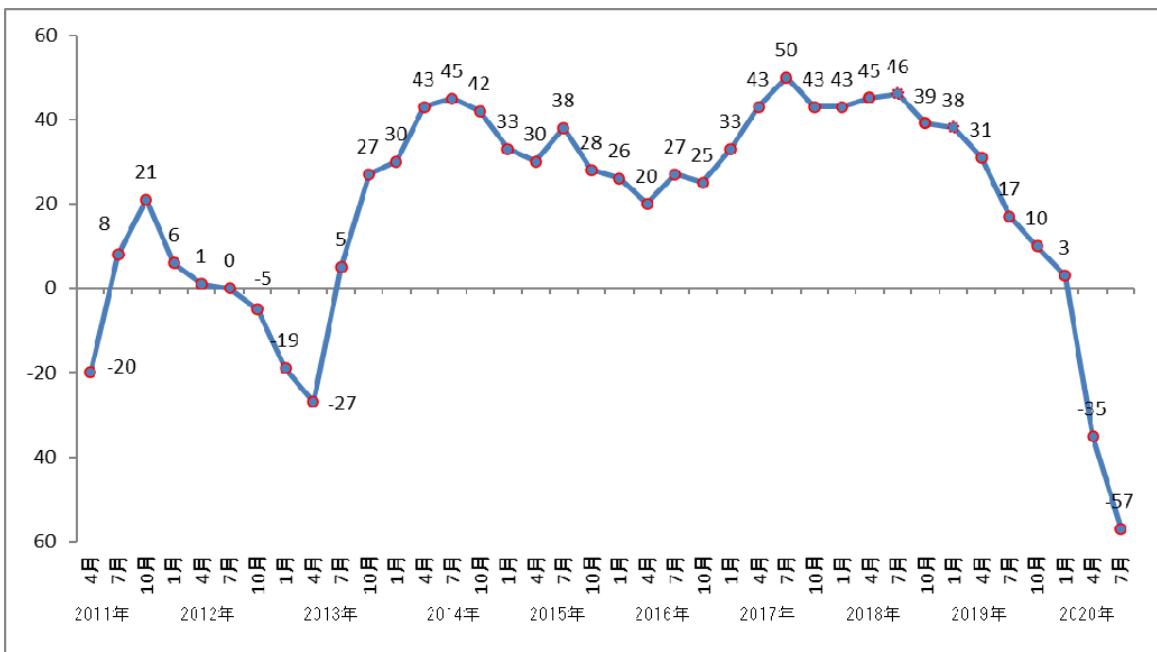
2020年7月の業況判断D I（「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を引いた数値）はマイナス57で、2020年4月度調査（マイナス35）を22ポイント下回っており、2018年10月度調査以降、8四半期連続で低下。また、2011年4月の調査開始以来、最も低い数値となった。（図1）

判断材料として、新型コロナウイルス感染症の影響により、取引先の減産や休業による受注減少が広がっているとする企業が多い。

【最近の業況】の判断例（調査票の「業況判断の理由」欄から抜粋）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、取引先での生産調整および休業が発生し、業績が悪化した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で売上が大幅に落ちている。
- ・コロナ禍において自動車関連で生産が縮小し、他業種においても影響が出始めている。人員が確保できても、職場への受け入れ時に待機期間が設けられている取引先もある。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により先行きの不透明感が強く、派遣ニーズ好転の兆しが見えない、

（図1）製造請負・派遣業況判断D Iの推移



先行き（3ヵ月後）の業況判断D Iはマイナス41と、低い数値に留まる見通しとなっている。判断材料として、新型コロナウイルス感染症の影響により、取引先における操業停止や減産が継続すると見込まれており、先行きが不透明。一部の取引先では生産回復が見られるものの、業績回復には時間がかかるとする企業が多い。

【先行きの業況】の判断例（調査票の「業況判断の理由」欄から抜粋）

- ・新型コロナウイルス感染症によるマイナスの影響はしばらく継続すると予測。未だ生産調整が続く状況にあり、人材需要の回復は当分の間、見込めない。
- ・一定の回復の兆しは見えるが、新型コロナウイルス感染症前の水準には到達できない見込み。
- ・取引先の休業等は減少傾向にあるが、V字回復は見込めないため、時間を要すると思われる。
- ・一部の取引先では生産が改善し、増産はなされているものの、自動車関連においては回復の兆しが無い。

(2) 取引先数判断

2020年7月の取引先数判断D I（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた数値）はマイナス52で、2020年4月度調査（マイナス26）に対して26ポイント下回っている。2011年4月の調査開始以来、最も低い数値となった。

先行き（3ヵ月後）の取引先数判断D Iは、マイナス18となっている。

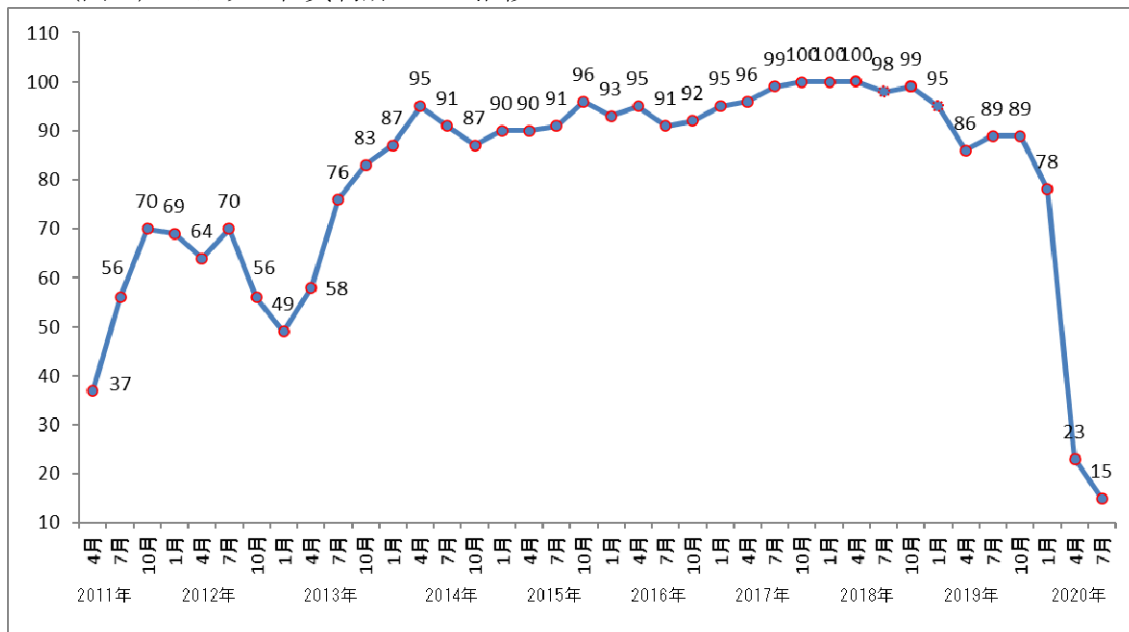
(3) 雇用人員判断

① スタッフ社員

2020年7月のスタッフ社員判断D I（「不足」と回答した企業の割合から「過剰」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス15で、2020年4月度調査（プラス23）に対して8ポイント下回っている。2011年4月の調査開始以来、最も低い数値となった。（図2）

先行き（3ヵ月後）のスタッフ社員判断D Iはプラス25となっている。（図3）

（図2）スタッフ社員判断D Iの推移



② プロパ社員

2020年7月のプロパ社員判断D I（「不足」と回答した企業の割合から「過剰」と回答した企業の割合を引いた数値）はマイナス20で、2020年4月度調査（プラス5）に対して25ポイント下回った。

先行き（3か月後）のプロパ社員判断D Iはマイナス14となっている。

2. 売上額・雇用人員

(1) 売上額

回答企業64社の2020年4～6月期売上額の対前年同期比増減率は6.5%減であった。

回答企業の規模別で見ると、A群（売上高10億円以上）が5.5%減、B群（売上高10億円未満）が14.4%減となっている。

会員企業の売上額の対前年同期比増減率の分布をみると、0～9%減が34.4%で最多となっており、次いで、10～19%減が28.1%となっている。増減率がマイナスとなった企業割合は87.5%であり、2011年4月の調査開始以来、最も大きな数値となった。

(2) 雇用人員

回答企業65社の2020年6月末現在の雇用人員数は137,863人であった。

内訳を見ると、スタッフ社員が129,368人で、雇用人員全体の93.8%を占めている。スタッフ社員の内訳は、労働者派遣により就業する社員が102,835人（スタッフ社員全体の79.5%）、請負等の現場に就業する社員が26,533人（同20.5%）となっている。

プロパ社員は8,495人、全雇用者のうち外国人労働者は18,030人となっている。

以上

(別紙)

製造請負・派遣事業動向調査 結果表－2020年7月度調査

一般社団法人日本生産技能労務協会

1. 判断項目

(1) 業況判断

(%ポイント)

| 規模区分 社数 | 区分 | 2020年4月調査 | | 2020年7月調査 | | | |
|------------------|---------|-----------|-----|-----------|-----|-----|-----|
| | | 最近 | 先行き | 最近 | 先行き | | 変化幅 |
| | | | | | 変化幅 | 変化幅 | |
| A群 23 (22) | 良い | 9 | 0 | 0 | -9 | 0 | 0 |
| | さほど良くない | 32 | 14 | 30 | -2 | 52 | 22 |
| | 悪い | 59 | 86 | 70 | 11 | 48 | -22 |
| | 業況判断DI | -50 | -86 | -70 | -20 | -48 | 22 |
| B群 42 (41) | 良い | 5 | 5 | 0 | -5 | 2 | 2 |
| | さほど良くない | 61 | 37 | 50 | -11 | 57 | 7 |
| | 悪い | 32 | 56 | 50 | 18 | 40 | -10 |
| | 業況判断DI | -27 | -51 | -50 | -23 | -38 | 12 |
| 合計 65 (63) | 良い | 6 | 3 | 0 | -6 | 2 | 2 |
| | さほど良くない | 51 | 29 | 43 | -8 | 55 | 12 |
| | 悪い | 41 | 67 | 57 | 16 | 43 | -14 |
| | 業況判断DI | -35 | -64 | -57 | -22 | -41 | 16 |

- (注) 1. 「良い」、「さほど良くない」及び「悪い」の各数値は、回答社数に占めるそれぞれの回答割合(%)を示す。
 2. 「業況判断DI」は、「良い」(回答社数構成比)－「悪い」(回答社数構成比)。
 (以下、取引先数判断及び雇用人員判断についても同様。)
 3. 「最近」は回答時点を、「先行き」は3ヵ月後を示す。
 4. 「最近」の変化幅は、前回調査の「最近」との対比。「先行き」の変化幅は、今回調査の「最近」との対比。
 5. 規模区分は2020年1～3月期の売上げ額が10億円以上の企業をA群、10億円未満の企業をB群とした。
 6. 社数欄は2020年7月調査の回答企業数、カッコ内の数値は2020年4月調査の回答企業数を表す。
 7. 全ての回答割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100%にならない。

(2) 取引先数判断

(%ポイント)

| 規模区分 社数 | 区分 | 2020年4月調査 | | 2020年7月調査 | | | |
|------------------|----------|-----------|-----|-----------|-----|-----|-----|
| | | 最近 | 先行き | 最近 | 先行き | | 変化幅 |
| | | | | | 変化幅 | 変化幅 | |
| A群 23 (22) | 増加 | 5 | 0 | 0 | -5 | 9 | 9 |
| | ほぼ同じ | 68 | 36 | 43 | -25 | 65 | 22 |
| | 減少 | 27 | 64 | 57 | 30 | 26 | -31 |
| | 取引先数判断DI | -22 | -64 | -57 | -35 | -17 | 40 |
| B群 42 (41) | 増加 | 2 | 2 | 2 | 0 | 12 | 10 |
| | ほぼ同じ | 66 | 39 | 45 | -21 | 57 | 12 |
| | 減少 | 29 | 56 | 52 | 23 | 31 | -21 |
| | 取引先数判断DI | -27 | -54 | -50 | -23 | -19 | 31 |
| 合計 65 (63) | 増加 | 3 | 2 | 2 | -1 | 11 | 9 |
| | ほぼ同じ | 67 | 38 | 45 | -22 | 60 | 15 |
| | 減少 | 29 | 59 | 54 | 25 | 29 | -25 |
| | 取引先数判断DI | -26 | -57 | -52 | -26 | -18 | 34 |

(3) 雇用人員判断

1) スタッフ社員

(%ポイント)

| 規模区分 社数 | 区分 | 2020年4月調査 | | 2020年7月調査 | | | |
|------------------|------------|-----------|-----|-----------|-----|-----|-----|
| | | 最近 | 先行き | 最近 | 先行き | | 変化幅 |
| | | | | | 変化幅 | 変化幅 | |
| A群 23 (22) | 不足 | 45 | 27 | 35 | -10 | 39 | 4 |
| | 適正 | 32 | 32 | 39 | 7 | 39 | 0 |
| | 過剰 | 23 | 41 | 26 | 3 | 22 | -4 |
| | スタッフ社員判断DI | 22 | -14 | 9 | -13 | 17 | 8 |
| B群 42 (41) | 不足 | 37 | 37 | 38 | 1 | 45 | 7 |
| | 適正 | 46 | 20 | 43 | -3 | 38 | -5 |
| | 過剰 | 15 | 41 | 19 | 4 | 17 | -2 |
| | スタッフ社員判断DI | 22 | -4 | 19 | -3 | 28 | 9 |
| 合計 65 (63) | 不足 | 40 | 33 | 37 | -3 | 43 | 6 |
| | 適正 | 41 | 24 | 42 | 1 | 38 | -4 |
| | 過剰 | 17 | 41 | 22 | 5 | 18 | -4 |
| | スタッフ社員判断DI | 23 | -8 | 15 | -8 | 25 | 10 |

2)プロパ社員

(%ポイント)

| 規模区分 社数 | 区分 | 2020年4月調査 | | 2020年7月調査 | | | |
|------------------|-----------|-----------|-----|-----------|-----|-----|-----|
| | | 最近 | 先行き | 最近 | 変化幅 | 先行き | 変化幅 |
| | | | | | | | |
| A群 23 (22) | 不足 | 27 | 14 | 0 | -27 | 9 | 9 |
| | 適正 | 64 | 59 | 74 | 10 | 65 | -9 |
| | 過剰 | 9 | 27 | 26 | 17 | 26 | 0 |
| | プロパ社員判断DI | 18 | -13 | -26 | -44 | -17 | 9 |
| B群 42 (41) | 不足 | 10 | 17 | 7 | -3 | 7 | 0 |
| | 適正 | 76 | 54 | 69 | -7 | 74 | 5 |
| | 過剰 | 12 | 27 | 24 | 12 | 19 | -5 |
| | プロパ社員判断DI | -2 | -10 | -17 | -15 | -12 | 5 |
| 合計 65 (63) | 不足 | 16 | 16 | 5 | -11 | 8 | 3 |
| | 適正 | 71 | 56 | 71 | 0 | 71 | 0 |
| | 過剰 | 11 | 27 | 25 | 14 | 22 | -3 |
| | プロパ社員判断DI | 5 | -11 | -20 | -25 | -14 | 6 |

2. 四半期項目

(1)2020年4～6月期の売上額に関する対前年同期比増減率

| 規模区分 | | A群 | B群 | 合計 |
|---------------------------------------|-----------|-------|--------|-------|
| 企業数 | | 22 | 42 | 64 |
| 対前年同期比増減率 | | -5.5% | -14.4% | -6.5% |
| （増 減 成 率 比 分 ） 布 | 20%～ | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | 10%～19% | 9.1% | 0.0% | 3.1% |
| | 0%～9% | 9.1% | 9.5% | 9.4% |
| | ▲0%～▲9% | 45.5% | 28.6% | 34.4% |
| | ▲10%～▲19% | 22.7% | 31.0% | 28.1% |
| | ▲20%～ | 13.6% | 31.0% | 25.0% |

(2)雇用人員

2020年6月30現在

| 労働者の属性 | A群 | | B群 | | 合計 | |
|---------------------|-------------|------------------|-------------|------------------|-------------|------------------|
| | 労働者数 (人) | 構成比 (%) | 労働者数 (人) | 構成比 (%) | 労働者数 (人) | 構成比 (%) |
| スタッフ社員数 | 112,810 | 93.8% (100%) | 16,558 | 94.1% (100%) | 129,368 | 93.8% (100%) |
| 労働者派遣により 就業する社員数 | 89,495 | 74.4% (79.3%) | 13,340 | 75.8% (80.6%) | 102,835 | 74.6% (79.5%) |
| 請負等の現場に 就業する社員数 | 23,315 | 19.4% (20.7%) | 3,218 | 18.3% (19.4%) | 26,533 | 19.2% (20.5%) |
| プロパ社員数 | 7,458 | 6.2% | 1,037 | 5.9% | 8,495 | 6.2% |
| 総労働者数 | 120,268 | 100.0% | 17,595 | 100.0% | 137,863 | 100.0% |
| うち、外国人労働者数 | 14,985 | 12.5% | 3,045 | 17.3% | 18,030 | 13.1% |

(注) 構成比のうち()内は、スタッフ社員数に占める労働者派遣により就業する社員数及び請負等の現場に就業する社員数の割合を表す。

以上